

2023年度カリキュラムマップ
(化学専攻 博士後期課程)

◎ : DPと最も関連がある科目 (一つのみ)
● : DPと関連がある科目

NO	科目区分	科目ナンバー	授業科目の名称	配当年次	前・後期の別	単位数			知識・理解			思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現				
						必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	
									経常的に文献検索を進め、専門分野の研究動向を把握して学識を深めている。	専門分野の研究を、一般に解説することができる。	化学分野の共通語である英語で、論文を執筆・発表する経験を積んでいる。	専門分野の学識を背景に、自ら計画を立てて実験を実施し、結果の解析の精度の向上に努めて、研究手法の高度化を図ることができる。	専門分野に関わる関連分野にも、文献検索の幅を広げ、共同研究や学会活動を通して、他の研究機関の研究者と交流し、将来の課題を考えることができる。	リーダーシップをもってチームの実験・研究に貢献することができる。	論文発表や学会発表を進め、批判を受け入れて、より確実な研究手法への発展を図ることができる。	専門分野の研究で、高度な実験手法と解析手法を表わすことができる。	自ら研究を実施し、研究手法を実証している。	自らの研究目的の、社会に於ける意義を明らかにすることができる。	
			研究科目																
1		7000	錯体化学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
2		7005	錯体化学特別講義 B	1	後期	2		●			●		●					◎	
3		7020	有機合成化学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
4		7025	有機合成化学特別講義 B	1	後期	2		◎			●		●					◎	
5		7030	生物有機化学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
6		7035	生物有機化学特別講義 B	1	後期	2		◎			●		●					◎	
7		7040	反応物理化学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
8		7045	反応物理化学特別講義 B	1	後期	2		◎			●		●					◎	
9		7050	構造生物学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
10		7055	構造生物学特別講義 B	1	後期	2		◎			●		●					◎	
11		7060	分子生物化学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
12		7065	分子生物化学特別講義 B	1	後期	2		◎			●		●					◎	
13		7070	機能生物化学特別講義 A	1	前期	2		◎			●		●					●	
14		7075	機能生物化学特別講義 B	1	後期	2		◎			●		●					◎	
15		7010	機能物性化学特別講義 A	1	半期(集中)	2		◎			●		●					●	
16		7015	機能物性化学特別講義 B	1	半期(集中)	2		◎			●		●					◎	
17		7080	構造生物学特別講義 A	1	半期(集中)	2		◎			●		●					●	
18		7085	構造生物学特別講義 B	1	半期(集中)	2		◎			●		●					◎	
			論文指導科目																
19		7900	化学特別研究 1	1	前期	2		●		◎	◎		◎		◎		◎	◎	●
20		7910	化学特別研究 2	1	後期	2		●		◎	◎		◎		◎		◎	◎	●
21		7920	化学特別研究 3	2	前期	2		●		◎	◎		◎		◎		◎	◎	●
22		7930	化学特別研究 4	2	後期	2		●		◎	◎		◎		◎		◎	◎	●
23		7940	化学特別研究 5	3	前期	2		●		◎	◎		◎		◎		◎	◎	●
24		7950	化学特別研究 6	3	後期	2		●		◎	◎		◎		◎		◎	◎	●
			計			12	36	0											

化学専攻 博士後期課程 カリキュラムツリー

学年	期	知識・理解			思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現			
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10
		経常的に文献検索を進め、専門分野の研究動向を把握して学識を深めている。	専門分野の研究を、一般に解説することができる。	化学分野の共通語である英語で、論文を執筆・発表する経験を積んでいる。	専門分野の学識を背景に、自ら計画を立てて実験を実施し、結果の解析の精度の向上に努めて、研究手法の高度化を図ることができる。	専門分野に関わる関連分野にも、文献検索の幅を広げ、共同研究や学会活動を通して、他の研究機関の研究者と交流し、将来の課題を考えることができる。	リーダーシップをもってチームの実験・研究に貢献することができる。	論文発表や学会発表を進め、批判を受け入れて、より確実な研究手法への発展を図ることができる。	専門分野の研究で、高度な実験手法と解析手法を表わすことができる。	自ら研究を実施し、研究手法を実証している。	自らの研究目的の、社会に於ける意義を明らかにすることができる。
3	後	化学特別研究 6									
3	前	化学特別研究 5									
2	後	化学特別研究 4									
2	前	化学特別研究 3									
1	後	化学特別研究 2									
	前	化学特別研究 1									

錯体化学特別講義 B	分子生物化学特別講義 B
有機合成化学特別講義 B	機能生物化学特別講義 B
生物有機化学特別講義 B	機能物性化学特別講義 B
反応物理化学特別講義 B	構造生物化学特別講義 B
構造生物学特別講義 B	

錯体化学特別講義 A	分子生物化学特別講義 A
有機合成化学特別講義 A	機能生物化学特別講義 A
生物有機化学特別講義 A	機能物性化学特別講義 A
反応物理化学特別講義 A	構造生物化学特別講義 A
構造生物学特別講義 A	